

常盤台・斯波家住宅(ときわだい・しばけじゅうたく)

板橋区登録有形文化財(建造物) 平成20年3月27日登録

所在地：板橋区常盤台2-13-7

交通：東武東上線「ときわ台駅」徒歩3分

ときわ台駅北側の常盤台一・二丁目一帯は、東武鉄道が田園都市づくりをめざし、昭和8～13年に、駅の開設を含め、26万4千㎡に及ぶ土地区画整理を行い造成した街で、「常盤台住宅」と呼ばれています。

その常盤台住宅は、近年、建物の老朽化・生活様式の変化に伴う建替えや、相続による土地の細分化等で建築当初の建物が少なくなってきました。当住宅も、平成16年に建築当初の形を維持できなくなる事態が生じましたが、現所有者は建築物の価値の重要性を鑑み、建物の一部分を曳家して保存しました。

建築当初と比較すると規模は縮小され、位置も同敷地内で移動していますが、ひろえん広縁を含む四部屋が屋根を含めて建築当初のまま残っており、「常盤台住宅」の歴史を伝えるうえで重要な近代和風建築です。

*内部への立入りはできません。

